

はっちゃきロボケン 特別編

父ちゃんの炭鉾の思い出

前編



すずお泰樹

思い出シャボン玉 実演中!!

今年の
二月の事である

コロナ禍で
父ちゃんは部屋に
こもっていた……

父ちゃんの
様子どう？

祭日にも
なったのに……
なんだこの
虚無感は……

なんか
ブツブツ
言ってるよ
……

ウツじゃ
ないの……

キラリン
あっ!!
ナイフを
かざした

父ちゃん
早まら
ないで!!

ヤメロー
新築
アパートを
訳有り物件に
する気か!!

父ちゃん
まさか
……

何勘違い
してるんだ!!

ヤバーツ
発狂した
!!

これを
カット
しようと
していた
だけじゃ

シヨート
ケーキ
……

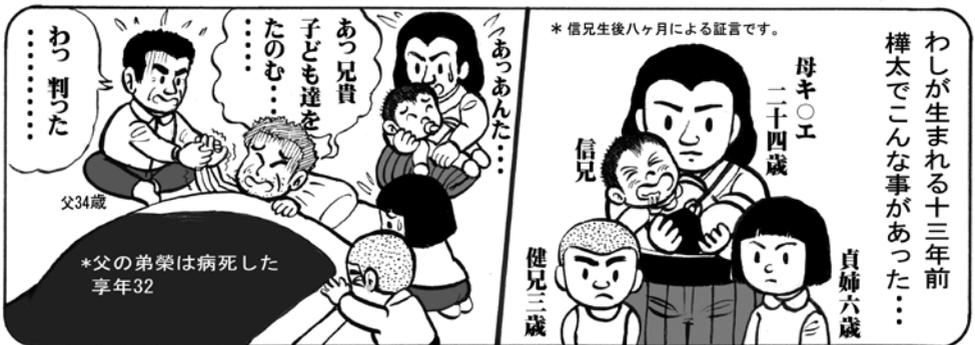
ちっ
ちやい

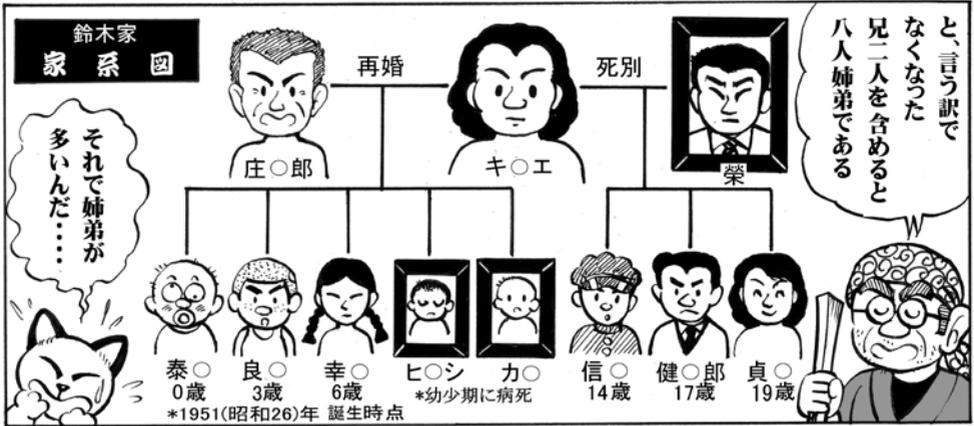






*裏ボス売げ武者が寝んでいる?







上歌地区

兄の借りていた 旭町の炭住に住む。ここで五年間暮らし、後に新歌志内地区へ移転する。

一九五五(昭和30)年
父やあんちゃんがお働く
歌志内の炭鉱へ引越した

うたしなひ (昭和30年代)

この頃の歌志内は、子ども心に活気のある炭鉱町として記憶している。

その頃の人口は四万六千人位だった。現在「日本一人口の少ない市」として脚光?を浴びている。

*1958(昭和33)年 歌志内市制施行



*「借しまれつつ」廃線になった!!



*「炭と通った炭家の煎茶!!」
志別 ロマン産 検索



*「炭火料理が大好き!!」
石炭ストーブ
冬の暖房の必需品
テレビ
洗濯機

参考資料 うたしなひ炭鉱の記憶写真集より 定価 1,000円



1956(昭和31)年

*ゴード 格安焼酎



*歌志内高等学校

*あくまでイメージです。



福利厚生施設
上歌会館が
あった...



小学校へ上がる前 炭鉱が
従業員の為に作った幼稚園に
通っていた

*住友上歌志内砒会館





その声の主は
オフクロ
だった

死んだら
おもしろ

やす
死ぬな!!

母は
強しね...

そのまま
川を渡って
いたら...
八年間の
人生で終わって
いただろう

二週間も学校を
休んだので算数の
授業について
行けなくなっ
ていた.....

そんなの
ただの言い訳よ!!



小三の
時である

北海道の
夏は短い...

近くのプールへ
出かけた

プールの端で
見学していたら
.....

誰かと
ぶつかった

あっ!!



気がついたら
ムシロの上に
寝かされていた

だぞ!!
ドカエ
モダ

ドカエ
モン?

ドカエモン
??????



ゴボゴボと
沈んで行く
自分を見た
気がする

ゴボゴボ



又、死に
かけたの
かよ!!

誰が助けて
くれたか
未だに謎
である???

ちよつと
休憩して
.....

わんぱく
時代の事を
話すぞ

*この頃はまだ泳げない
カナズチだった